



子どものしつけで優先したほうがいいことはなに？

「しつける」ってどういうことだろう？

最初にとっても大事なことは、「しつけ」＝「叱ること」というのは間違いです。厳しくすると即効性を感じるかもしれませんが、「怖い」からやめるだけで、怖い人がいなければまた同じことを繰り返したりします。

子どもができないことは、生活の流れの中でお手本を見せて「これはこうするといいよ」と言葉や時には手を添えて教えていくといいと思います。

危険なこと、悪いことをしたときは、例えば「水鉄砲をお部屋でするとぬれるから、だめだよ。お風呂に入った時やお外でしょうね。」などと、してはいけない理由とどうすればよかったのかをきちんと説明するといいと思います。しつけはこの繰り返しです。現実的には冷静になれずに厳しく叱ってしまうこともあるでしょう。でもしつけは一つずつ言葉や援助で教えていくことだと理解するとスムーズにいくのだと思います。

生活習慣のしつけは時間をかけてゆっくりと。

食べる、寝る、清潔の意識、挨拶、ルールを守ることなど生活習慣のベースを作っていく時期です。これらは生活の中で見て学ぶ要素が多いものですが、それに加えて子どもが身につけやすくなるような言葉がけや援助が必要です。

しつけで優先したいのは、お手本を見せ、説明し、支援しながら体験させてあげることです。そしてできた時は、ほめてあげてその時の気持ちを言葉にしてあげてください。急ぐ必要はないので、子どもの成長を楽しみながら時間をかけて進めていってください。

